

## 取組事例

企業・団体名：ユニリーバ・ジャパン	所在地： 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー
社員数：500 名	業種：消費財メーカー

### 取組の目的：

【社内】・すべての社員が自分らしくいきいきと豊かに生きられるようにしながら、生産性を向上する。

【社外】・プレミアムフライデーを契機にビジネスパーソンが「帰りたくなる理由」をつくる。

・日本の企業に共通する課題について、ユニリーバの取り組みを多くの方と共有し、ともに考える機会を持つ。

### 取組の概要： ※複数選択可

#### 〈現在プレミアムフライデーに行っている取組〉

- 定時前退社・有給取得の奨励  1日  
 半日（午後休）  
 時間休
- 定時退社の奨励（ノー残業）  
 勤務時間の短縮（社内ルールの変更）  
 その他具体的な取組

【社内】①働く時間・場所を社員が自由に選べる人事制度「WAA」の導入・推進（2016年7月～）

詳細：<https://www.unilever.co.jp/sustainable-living/waa/about-waa/>

②毎週金曜午後を「U-Time」とし、社員が成長のために豊かに過ごす時間として推奨（2014年1月～）

【社外】③社外のビジネスパーソン向けの「ユニリーバ プレミアムフライデーセミナー」を開催（2017年3月～）

詳細：<https://www.unilever.co.jp/news/press-releases/2017/PF-seminar.html>  
<https://www.unilever.co.jp/sustainable-living/waa/PF/>

#### 〈実施日〉

- 毎月末金曜日  
 その他の設定

（①はすべての労働日、②は毎週金曜日午後、③はプレミアムフライデーに実施）

## 現状とこれまでの取組の効果：

※これから取組を開始される場合には現状の記載のみで構いません。

### 【社内】

- 「WAA」をはじめとする新しい働き方が社内に浸透し、多くの社員に活用されている。
- 社員がそれぞれのライフスタイルを楽しみながら生産性を高めていることで、残業時間が減る一方で、売上成長が続いている。
- U-Time も社内外の研修、能力開発のための上司との面談などの時間として役立てられはじめた。
- 今後も WAA, U-Time とともに、継続して活用を呼びかけていく。

(参考) 「WAA」導入 10 カ月後の社員アンケートの結果：

- ✓ 91%が一度でも WAA を利用したことがあると回答
- ✓ 67%が「新しい働き方」の導入後、毎日の生活が良くなっていると感じている
- ✓ 75%が生産性が上がったと感じている（下がったと感じているのは 3.3%）
- ✓ 29%が労働時間が減ったと感じている。
- ✓ 実際の残業時間も平均 10%程度減少した。

### 【社外】

③社外のビジネスパーソン向けの「ユニバーバ プレミアムフライデーセミナー」を開催

- 2017 年 3 月から毎月異なるテーマでセミナーを開催。（テーマ：SDGs、交渉力、リーダーシップなど）
- 2017 年 8 月までに計 6 回実施し、のべ 150 名以上に参加していただいた。
- 参加者からは「日々業務をしているだけでは、絶対に聞けない話が聞けた」「楽しく学べた」「こういったプレミアムフライデーの過ごし方も有効だと考えさせられる良いきっかけになった」等のポジティブなフィードバックをいただいた。
- 今後も継続して実施していく予定。
- 継続して参加頂いている方も多く、プレミアムフライデーに本セミナーに参加することが定着している方も多数。



写真：これまでに実施した  
ユニバーバ プレミアムフライデーセミナーの様子